

第5学年 図画工作 学習指導案

日 時 : 令和 年 月 日()第 校時
 対 象 :
 授業者 :
 会 場 :

1. 題材名 「コマ撮りアニメーションを作ろう！」

2. 題材の目標

○アニメーション作りを通して、作りだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり、創造的につくったり表したりする力を培う。

3. 題材の評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
・身近な道具や場所に関心をもち、動画アプリを使いながら表したいイメージが広がることを楽しむ。	・使う道具や身近にある場所の特徴をもとに連想し、表したい場面を見つける。	・動画アプリの特徴を生かし、表したい場面のイメージが伝わる表し方を工夫する。	・身近な場所の特徴や自他の感じ方、表し方の違いやよさを味わい、伝え合う。

4. 指導計画と評価計画(全16時間扱い)

時	小題材	主な学習内容
1～4	物語の登場人物(モチーフ)をクレイ粘土でつくろう。	・色つきのクレイ粘土を色を混ぜ合わせてつくる。
5～6	コマ撮りアニメーションを試してつくろう。	・身近な道具を使い、動画アプリを試して撮影をする。
7～10	コマ撮りアニメーションの背景をつくろう。	・工作用紙の台紙を基にして、物語の背景を色画用紙を組み合わせてつくる。
11～16 (本時14)	コマ撮りアニメーションを撮っていこう。	・実際に作った背景と登場人物(モチーフ)を使って、アニメーションを撮影する。・撮った動画を全員で鑑賞し、表現の良さや作り方の工夫などを見つけて話し合う。

5. 研究主題に迫るための指導の工夫(授業観察の視点)

(1) 学びの個別最適化を図る(個に応じた学び)

児童が自らの思いや想像をふくらませて登場人物(モチーフ)をつくり、それにふさわしい撮影場所を選択したり、効果音をつくったりしたりして、自分だけのオリジナルアニメーションを作るために個々に応じた助言を行う。

(2) 学びの協働化を図る(対話・学び合い)

ペアやグループで紹介し合い、それぞれの作品の良さに気付き、友人の撮り方や登場人物(モチーフ)の動かし方を学び、参考にする。

(3) ICT 機器や地域人材等の効果的な活用(Edtech)

タブレット端末を用いてストップモーション・アプリを使用し、1枚ずつコマ撮りの写真を撮り、それを連結させ、動画を作成する。また、大型モニターにタブレット端末を接続し、作ったオリジナルアニメーションを全体で鑑賞する。

(4) 授業のユニバーサルデザイン化(視覚化・焦点化・共有化)

黒板に本時のめあてや活動の流れ、ポイントが分かるように掲示したり、大型モニターに必要な場面が必要な情報を映したりすることで、学習の見通しをもたせ、活動のポイントを明確にする。

6. 本時の指導(14/16時間扱い)

(1) 本時の目標

- コマ撮りアニメーション作りを通して、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり、創造的についたり表したりする。

(2) 本時の展開

課題把握・見通し

コマ撮りアニメーションの撮り方を確認し、撮影の構図について考える。

どんなふうにキャラクターを動かすか考えよう。



木の果物を取る動きを撮りたいな。

キャラクターをジャンプさせる時はどうやって撮影しようか…。



- ※児童が作ったキャラクターや模型の写真(タブレット端末で撮影)を大型モニターに映す。
- ※自分で考えた物語をコマ撮りをするのに、どんな動かし方をするか考える。
- ※ペアやグループで紹介し合い、友達のキャラクターの動かし方を参考にする。
- ※スムーズにアニメーションを動かすには、どのくらい写真を撮ればよいかを考える。

本時のめあて コマ撮りアニメーションを撮ろう！

ストップモーション・アプリを起動して、撮影を始めよう。



C: 単純な動きの繰り返しでもおもしろそう。

C: 棒をキャラクターの後ろ部分に取り付けて友達に動かしてもらえば、ジャンプなどの複雑な動きも自然に撮れるね。



- ※ 決まったコマ数のアニメーションを事前に見ることで、自分の作品の見通しをもつ。
- ※ 黒板の活用とアプリ動画を大型モニターに映すことで、課題を焦点化させる。

表現活動・学び合い

コマ撮りアニメーションを作る。

① タブレット端末を固定して撮影する。

② 構図を考えて撮影する。

③ 少しずつ撮影するキャラクター等を動かす。

④ 物語に合わせて工夫する(効果音、光の調整など)

- ※ 写真の撮り方が思い付かない児童には、友人の撮っている様子を見て考えるようにさせる。
- ※ 撮影を終えてアニメーションを作り終わった児童は、タブレット端末に動画を保存し、違う撮り方を試す。
- 【評価】動画アプリの特徴を生かし、表したい場面のイメージが伝わる表し方を工夫する。

まとめ・振り返り

コマ撮りアニメーションを発表・鑑賞する。

作った動画を発表しましょう。



〇〇さんが撮ったアニメーションはどうだったかな？感想を発表しよう。

C: 動きがスムーズでよかった。

C: 物語や背景の作りがおもしろかった。ここから先も見てみたい。

C: 撮ってる場所が思い付かないところでよかった。

- ※作った動画を大型モニターで発表し全員で鑑賞する。
- ※見やすいようにモニターの前に集まる。



【評価】コマ撮りアニメーションを通して、創造的についたり表したりしている。また、主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組める。